



《学級のどの子ども計画委員会を経験させるための一工夫》

誰にもできる計画委員会を目指してほしいと思っておりますが、仕事の内容から考えて、なかなか能率よくできないものです。そこで、輪番制を取り入れることを勧めます。輪番制を取り入れる意義は、経験を通して子どもの可能性を引き出すことや、十分に力を発揮することができない子どもに対して、みんなで協力するということを体験させるためです。

ただし、輪番制といっても、毎回、全員が入れ替わるというわけではありません。前回の計画委員から一部の子どもが残るというシステムをつくっておきます。計画委員会4名のうち、3名が次の計画委員会に残るというシステムです。具体的には次のようになります。

【今回】		【次回】
司会者	→	計画委員会からはずれる
副司会者	→	司会者
黒板書記	→	副司会者
ノート書記	→	黒板書記
		新たにノート書記が加わる

毎回、全員が入れ替わることにしていると、次の2つの面から課題が残ると考えます。一つは教師サイドから見た側面からで、全員が計画委員会を経験し終えるまで、教師は同じような指導を続けなければならないという課題です。もう一つは、子どもサイドから見た側面からで、毎回未経験の子どもたちが集まりますので、子どもたち同士の教え合いが成立しないという課題です。そこで、教師サイドからは指導の効率化を考え、子どもたちサイドからは、教え合いを活性化させるということを考え、この方法をとっています。

ここでは、4名のうち1名が替わる方法を紹介しましたが、学級の人数が多い場合には一巡しないことが起こってきます。そこで、学級の人数に応じて2名ずつずらしていくという方法も考えたらよいと思います。

---

## 2 報告「山口学級活動ネットワーク 夏の学習会」 その3

---

8月26日（土）に山口学級活動ネットワーク主催の学習会を行いました。参加してくださった先生方から、たくさんの感想や意見をいただきました。そのいくつかを紹介します。

◇特別活動最新動向を知ることができました。学級活動の大切さ、集会の大切さが身にしみて分かりました。指導要領作成に携わられた先生のお話を直接聞くことができよかったです。

◇学級会の話し合いの重要性を取り戻すという主張は大賛成です。特活の大切さを改めて認識しました。学校作りに生かしていきたいと思えます。

- ◇宮川先生の講演は、学校で行っている研修と関わることが多いので、2学期の学級活動に生かしていきたいと思います。
- ◇学年始めの学級活動の大切さを改めて感じました。学級目標を4月に掲げたまま、それに基づいた学級経営ができていないことを反省させられました。2学期始めにもう一度、学級目標を子どもたちと見直してみたいと思います。私の学級の学級会は、代表委員会の議題を話し合う会になっているので、子どもたちから出た議題を話し合う機会をつくっていかうと思います。学級会が子どもたちの社会性を養うことにつながるというのが頭に残りました。評価も忘れがちになっているので、意識して取り入れていかうと思います。
- ◇宮川先生のお話は、現在の日本の特別活動について、とても勉強になりました。なかなか聞くことのできないお話だったのでとてもよかったです。
- ◇宮川先生のお話の中に、学級会で話し合わせるべきことの意識が私には欠けていたこともわかりました。総合の時間と行事の融合のさせ方なども参考になりました。総合と同じように、失敗体験の中から子どもたち自身にも気づかせたいと思います。
- ◇宮川先生のお話を聞いて、2学期の学級経営に「カツ」を入れることができました。
- ◇宮川先生のお話では、自分のこれまでを反省する部分もたくさんありました。今後に生かしていけたらと思います。

---

### 3 メルマガ情報交換広場

---

このメルマガを使って、学級作りについての情報交換をしませんか？メルマガ購読者のみなさんの実践をお知らせください。このメルマガを双方向の情報交換誌にしていきたいと思います。

#### ◆盛り上がったイベント活動

こんなイベント活動があるよ、学級でこんなイベント活動をしたら盛り上がったよなどというイベント活動の情報、ありましたら紹介をお願いします。

#### ◆運動会に向けての取組み

今年の運動会に向けて学級を活性化させるためにどんな取組みをされたのかを送ってください。

#### ◆子どもが本気になった係活動

これまでつくられた係で、子どもたちが本気になって取り組んでいる係活動を教えてください。係の名前と活動内容を募集します！

こんな情報が知りたい、こういう特集を組んで欲しいというものがありませんでしたら

下記アドレスまでメールでお知らせください。

☆ sugi-net@c-able.ne.jp

-----  
5 メルマガ編集部からのお知らせ  
-----

「毎回の内容を少なくして、毎週発行して欲しい」という要望が編集部へ送られてきました。そこで、今回からテーマを一つにして、毎週発行を目標にしてみようと思います。

メルマガを読まれての先生方からのご意見を待っています。

◆次号の予告◆◇◆

第13号は9月下旬ごろ発行予定です。

次号では、「朝の会・帰りの会」について紹介する予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は104名です。少しずつ購読者が増えてきています。もっともっとメルマガ仲間を増やしたいです。

お知り合いの方にこのメルマガを紹介してもらえませんか。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

=====  
山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====